

日中友好新聞

府連通信

2022年1月号  
日本中国友好協会  
大阪府連合会  
〒530-0013  
大阪市北区  
芝田2-3-19  
東洋ビル本館207  
TEL06-6372-8131  
FAX06-6372-8132  
郵便振替口座  
00970-5-8978  
E-mail:info  
@jcfaosaka.org  
ホームページ  
http://  
jcfaosaka.org/

## 明けましておめでとーございます

新年に入って新型コロナが全では『今年の組織活動の最大の国的に広がる様相を見せていま課題は、6月に予定されている。大阪府連の活動もコロナ対策第71回大会までの1万人の回復策をしっかりと取りながら進めてです。具体的には843名(68回大会現勢)の回復が必要になります。

昨年は中国百科検定試験や帰国者支援署名の取り組み、中国語講座の開催、干支きりえ講習は変わりませんが、それを「押会の開催などに取り組んでしまし返す新たな運動のバネ」が生じた。「中国悠久の旅」カレンダーの普及は、ほぼ完売しました。ご協力ありがとうございました。今年には会員拡大の取り組みを強めます。本部の仲間づくり推進ニュース新年号



まれてきています。今年も健康で、深刻にならず、楽しく、やりがいのある草の根の日中友好運動を旺盛に展開していきましょう。』と訴えています。

## 女性部 新しい年への抱負

世界中に感染を広めている新型コロナウイルス。次々と変異株が現れて収まる兆しがない中で、昨年11月に道修町「少彦名神社」訪問が実現し、東大阪支部の行事としても位置付けて頂くなど予想を上回る申し込みがありました。

参加の方からは『次回女性部の企画がありましたら声をかけてください』と大好評でした。また中国人と交流し学びたいという願いで、堺支部総会・公開講座に初参加の女性が「私の

(平澤京子)

## 城北支部 2年ぶりの望年会

昨年はコロナ禍で望年会を行えませんでした。今年は12月11日に森ノ宮の中華料理店で14名の参加で開催しました。新しく入会された方も数人参加され和気藹々とした雰囲気の中で進行しました。

全員が、日中友好運動や支部の行事に参加したの感想、最近受験した中国百科検定の感想など発言しました。



(西脇義彦)

## 帰国者支援署名運動 4月に国会請願

大阪府連をあげて取り組んでいる『中国残留孤児・婦人』2世の生活支援等を求める請願署名は12月末2461筆を超えました。4月の国会請願行動にむけ「一会員10筆」の目標を達成しましょう。

新春からは団休要請行動も計画されています。学習会は西支部、城北支部で開催され、堺支部でも計画されています。すべての支部で開催するようにしましょう！帰国者の体験や生の声を聴く機会も計画中です。

署名運動に取り組む中で、署名数の追求そのものの重要性は言うまでもありませんが、自らがさらに帰国者の状況を

(石井勉)

## 堺支部 帰国者交流会に参加

12月19日(日)堺市立南図書館の広い部屋では中国やベトナムからの人たちが10組前後に日本語指導をしていました。

堺支部の上村事務局長と日中友好新聞、府連通信、支部ニュースなど資料一式を持って「堺市帰国者交流会」会長の古賀さん、幹事の新堀さん(中国帰国者2世)と約1時間にわたって、懇談しました。

「交流会」は1992年に設立され、日本語教室、春節祭、ふれあい祭りの他バス旅行や餃子交流会などにとりくんでいました。

## 西支部 今年こそ早く3桁の支部に

あけましておめでとーございませす、パンデミック2年目、なかなか通常行事予定出来ない中、創意工夫して毎月創造性を発揮して活動しています。

海外旅行が行けない現在、日中カレンダーを活用して、中国旅行に浸った気分、また中国百科検定勉強も兼ねて、中国地理・世界遺産・民族・歴史・文化と学び、2月10月と2回企画実施、太極拳を通じて中国を知る学習会も行い、中国地名・人物名にも慣れていただき

きました。中国百科検定受験者からは事前学習になり参加してよかったと称賛の声をいただきました。昨年に続き、全国大会オンライン・自宅から参加・西支部を代表して、主に百科検定に関しまして、第9回ま



「望郷の星」鑑賞を西区居住仲間といたしました、早く食に関する行事が再開出来ればと願っています。本年の干支は虎です、80年前のトラ・トラ・トラではなく、現代の虎は平和とコミニティです、太極拳活動の中からも仲間が増えており早く3桁のにと、組織拡大にもつなげていき、さらに大きく羽ばたく1年にしていきます。(きりえは伊藤作、平松悦雄)

## 新春初けいこ

1月9日大阪国労会館で、22新春太極拳初けいこを開催、33名が色とりどりの表演服で参加して、24式・48式・32式剣・陳式簡化太極拳などを練習・表演しました。





# 第三の中国共産党歴史決議の特徴

府連副会長 山本恒人

## ① 文化大革命とその指導者

### 毛沢東への批判は継承



中国共産党第十九届中央委员会第六次全体会议

昨年11月中国共産党第19期6次大会が国民に全会が開かれ、同党100年とつて厄災であり、の歴史で3度目となる「歴史決」を發動、指導「が採択されました。日本のした毛沢東の誤りであつたとす報道が受け止めたように、第一の総括」が否定されたりするのの歴史決議（1945年）「中ではないか、不安でした。それ国の新民主主義革命の勝利；毛は個人的な感想というより、そ沢東時代」、第二の歴史決議の時代、大国主義的干渉を受け（1981年）「中華人民共和」で大きな被害を蒙つたわが協会国の歩みの意義、文化大革命の全体にとつて大切な問題意識だ誤りは正と改革開放への飛躍；といえます。

指導者毛沢東から鄧小平へ」、歴史決議全文を掲載した11月そして今回の第三の歴史決議17日人民日報を開き、ホッとした「中国共産党100年の奮闘、ました。文化大革命と毛沢東に特色ある社会主義の新時代；指針する批判は維持されたのです。導者習近平」というように、習少々長いですが、該当部分の近平氏の「毛沢東・鄧小平に並み訳しておきましょう。

「権威づけ」（朝日新聞）と習近平長期政権への宣言という意味をもつでしょう。

## 第3の歴史決議

「遺憾なことには、党の第8回大会が行つた正確な路線は完全には堅持されずに、大躍進運動およびその指導者毛沢東の誤り」という歴史認識の風化を思わせり、「反右派闘争」の無制限のるようなここ数年の動向、最拡大が相次いだ。当時の厳しく近の報道に次々登場する文革時複雑な外部情勢に直面する中で、を連想させるような出来事党は社会主義政権を強化するこ（「共同富裕」化のための民間とを極めて重視し、多方面にわ企業の寄付運動、「教育の機会たる努力を続けていた。

均等」に名を借りた塾批判や閉鎖、等）、さらに「個人崇拜」義社会における階級闘争に関する疑わせるような、指導者に対する理論と実践上の誤りとがますます拡大したにもかかわらず、その延長線上で、「第二の歴史党中央はこれらの誤りを随時適史決議」においてなされた（文正に糾していくことができなかった。

## 堺支部 公開講座で新加入

### 留学生5人参加の堺支部総会

皆様方のご協力で、総会・市民公開講座を無事終えることが出来、堺支部という竹にしっかりとした節を作ることが出来ました。桃山学院大学・大阪府立大学・羽衣国際大学の5人の留学生の方々の参加で元氣と夢がいっぱいになりなりました。今後の「国民同士の交流」に展望が開けました。



また、もう一つ嬉しい事がありました。講座の終了後に、喫茶店で東淀川から参加された方のお話を伺いました。日中友好へ熱い思いを持つておられる方でした。中国で暮らして、中国の文化・歴史を学び、中国の方々と心がつながるような交流をしたいと強く願っている。

た。毛沢東同志は、当時の我国の階級的情況や党と国家の政治状況について完全に誤った判断に陥っており、「文化大革命」を發動し、指導したのである。そして、林彪と江青という2つの反革命集団が毛沢東同志の誤りを利用し、国家と人民におびたらしい災厄をもたらした罪悪所業を行った。こうして十年内乱に陥り、党、国家、人民は新中国成立以来最も嚴重な挫折と損失を蒙った。これは教訓といふにはあまりにも悲惨なことであつた。1976年10月、中央政治局は党と人民の意志を執行して、毅然と「四人組」を粉碎し、「文化大革命」という災難を終結させたのである。

## 年末募金ありがとうございました

「ございました

日中友好協会大阪府連の年末募金へのご協力ありがとうございました。1月4日現在3支部と50名の方から16万円を超える募金をいただきました。

1972年の日中国交正常化から50年、双子のパンダ誕生などの明るいニュースがある一方で、日本国民の対中感情は極度に悪化した状態が続いています。22年を日中友好運動の飛躍の年になるよう力を合わせましょう。

## 中河内支部 八尾地域でも行事を

昨年11月27日に行なわれた第10回中国百科検定試験に中河内支部から5名が受験しました。まだ結果の通知は届いていませんが、支部でも事前に対策講座を開いたことが受験意欲につながり、初めて受験した役員からは「次回はいいですか？緊張したけれど、また受験したい」87歳の会員の方も「次も受験したい、人生に張り合いができた、これから挑戦する」などの声が寄せられています。私は、成績は今一つですが、楽しく学ぶことを心掛けて、学ぶ楽しさを皆さんに知っていただきたいと思っています。多くの方に受験してもらえよう取

り組んでいきます。昨年の支部総会では、八尾や柏原でも日中友好運動を広げるために支部名を変更しました。昨年はコロナで思うように活動ができませんでした。今年こそは八尾地域で集いや行事を会員の交流を広げたいと思っています。1月は新年会、2月は学習会「太平記と東大阪」で東大阪が舞台となった歴史を学びます。

## 城北支部 古墳壁画や謎の巨石を歩く

12月5日、1年越しの飛鳥ハイキングに8人で行ってきました。「推古天皇から11代、元明天皇が平城へ都を遷すまでを飛鳥時代とよんでいる。初めて都が開かれ、大陸文化が採り入れられたところ。ミカンが実る丘にも、民家の床下にも遺跡が眠っている。謎の巨石ばかりか路傍の石にも・・・」そんな明日香を歩いてきました。



飛鳥時代に造詣の深い西脇さんに案内され、先ずは高松塚古墳壁画館へ。発掘当時の極彩色の壁画が忠実に模写されています。それから、西脇さんの古墳と天皇の関係などの説明を聞きながら鬼の俎板、鬼の雪隠、亀石等の巨石を見て、合間に無人販売所で柿やレモンを買い、橋寺から石舞台へ。

飛鳥時代に造詣の深い西脇さんに案内され、先ずは高松塚古墳壁画館へ。発掘当時の極彩色の壁画が忠実に模写されています。それから、西脇さんの古墳と天皇の関係などの説明を聞きながら鬼の俎板、鬼の雪隠、亀石等の巨石を見て、合間に無人販売所で柿やレモンを買い、橋寺から石舞台へ。